

第1部 各国公立大学・短期大学の学生支援担当理事・副学長に対するアンケート結果

I 学生支援に関すること

この章では、ますます学生が多様化している中で、各大学等の学生支援に関する取組の現状と課題、学生支援に必要な専門性をどのように考えているか、また、当法人が実施しているスチューデントコンサルタント認定試験制度の理解度等について調査を行った。

問1 学生支援に関する現状

各大学等の学生支援の取組の現状や予算、学生支援に関する教職員の理解の現状、連携の現状等について調査した。

求められる専門性、予算の充実が必要。

学生支援への取組の評価

国立大学では75.8%が「しっかりと取組んでいる」と回答しており、公私立大学に比べやや高い数値になっている（短大は70.7%）。学生支援を担当する教職員が「専門的な能力を有している」と回答した比率は国公私立大学・短大ともほぼ半数である。高度専門職の整備が求められているとともに、研修等の充実が期待されているといえよう。

学生支援に関する予算

学生支援に関する予算については、「間に合っている」と回答した比率は公私立大学で3割程度であるが、国立大学では90.9%が「学生支援に関する予算が足りない」と回答している。

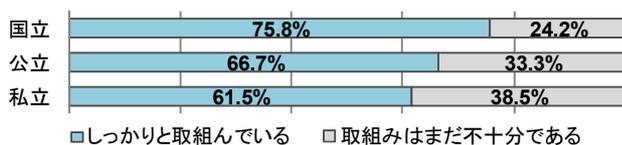
他調査との比較

平成26年12月発表の「独立行政法人日本学生支援機構」（以下「JASSO」という。）の調査（大学等における学生支援の取組状況に関する調査）によれば、「恒常的な委員会組織で連携について協議している」が87%（国95.3%、公84.4%、私86.1%）となっている。また、「学生の抱える多様で複合的な課題に対する学校の組織の対応状況」については、「ある程度対応できている」と「十分に対応できている」と合わせると9割前後が対応できているとの結果が示されている。

学生支援担当の理事・副学長等（以下「副学長等」という。）の立場からみれば、組織的な整備は進んでいるものので大学全体としての取組はまだまだであり、担当教職員の専門性の向上、予算面の充実が必要であるとの思いがにじみ出ている結果になっている。

（1）学生支援の取組の現状と予算

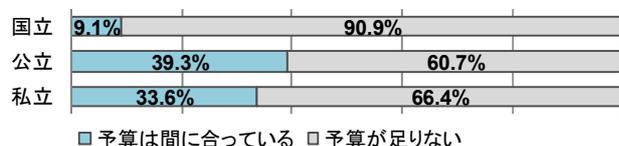
①学生支援について(大学)



②学生支援を担当する教職員(大学)



③学生支援に関する予算(大学)



(下段は%)

		大 学				短 期 大 学		
		国立	公立	私立	大学計	公立	私立	短大計
① 学生支援について	しっかりと取組んでいる	2.5	1.8	7.2	11.5	5	3.6	4.1
		75.8	66.7	61.5	65.0	71.4	70.6	70.7
	取組みはまだ不十分である	8	9	4.5	6.2	2	1.5	1.7
		24.2	33.3	38.5	35.0	28.6	29.4	29.3
小 計	3.3	2.7	11.7	17.7	7	5.1	5.8	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
② 学生支援を担当する教職員	専門的な能力を有している教職員がいる	1.8	1.4	5.7	8.9	3	2.6	2.9
		54.5	50.0	48.7	50.0	42.9	51.0	50.0
	専門的な能力を有する教職員が不足している	1.5	1.4	6.0	8.9	4	2.5	2.9
		45.5	50.0	51.3	50.0	57.1	49.0	50.0
小 計	3.3	2.8	11.7	17.8	7	5.1	5.8	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
③ 学生支援に関する予算	予算は間に合っている	3	1.1	3.9	5.3	0	2.5	2.5
		9.1	39.3	33.6	29.9	0.0	50.0	43.9
	予算が足りない	3.0	1.7	7.7	12.4	7	2.5	3.2
		90.9	60.7	66.4	70.1	100.0	50.0	56.1
小 計	3.3	2.8	11.6	17.7	7	5.0	5.7	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

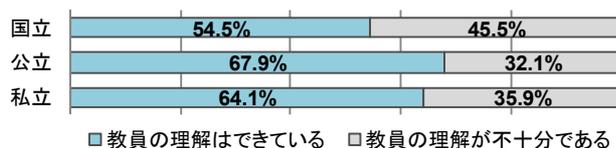
職員に比べ、教員の学生支援に関する理解度は低い。

学生支援について、「職員の理解はできている」と回答した大学は77.3%（短大は84.2%）であるが、「教員の理解が不十分である」と回答した大学は37.1%（短大は20.7%）となっている。職員に比べ教員の学生支援に対する理解が低い結果がでていいる。幹部教職員については、8割以上が理解ができていると答えている。

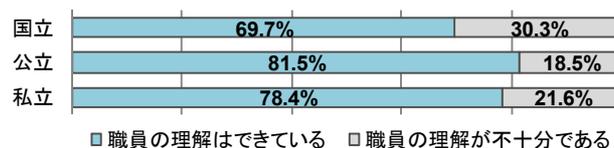
また、全般的に短期大学の方が大学に比べて理解度が高い傾向がみられる。

(2) 学生支援に関する教職員の理解の現状

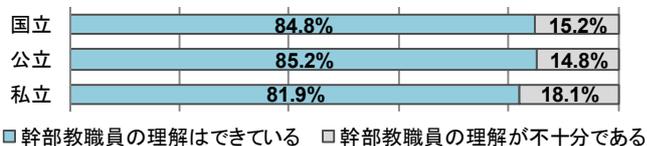
① 学生支援に関する教員の理解(大学)



② 学生支援に関する職員の理解(大学)



③ 学生支援に関する幹部教職員の理解(大学)



(下段は%)

		大 学				短 期 大 学		
		国立	公立	私立	大学計	公立	私立	短大計
① 学生支援に関する教員の理解	教員の理解はできている	1.8	1.9	7.5	11.2	4	4.2	4.6
		54.5	67.9	64.1	62.9	57.1	82.4	79.3
	教員の理解が不十分である	1.5	9	4.2	6.6	3	9	1.2
		45.5	32.1	35.9	37.1	42.9	17.6	20.7
小 計	3.3	2.8	11.7	17.8	7	5.1	5.8	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

② 学生支援に関する職員の理解	職員の理解はできている	23	22	91	136	5	43	48
		69.7	81.5	78.4	77.3	71.4	86.0	84.2
	職員の理解が不十分である	10	5	25	40	2	7	9
		30.3	18.5	21.6	22.7	28.6	14.0	15.8
	小計	33	27	116	176	7	50	57
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
③ 学生支援に関する幹部教職員の理解	幹部教職員の理解はできている	28	23	95	146	5	44	49
		84.8	85.2	81.9	83.0	71.4	88.0	86.0
	幹部教職員の理解が不十分である	5	4	21	30	2	6	8
		15.2	14.8	18.1	17.0	28.6	12.0	14.0
	小計	33	27	116	176	7	50	57
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

学生支援では連携が課題、保護者との連携も。

学内外の連携

学生の多様化に伴い、対応しなければならない課題は多い。このため、内外の関係機関との連携がますます必要になってきている。約6割が「学内の連携はできている」と回答しており、「学外機関」との連携についても国公私を問わず3割以上が「連携はできている」と回答している。連携の割合は、大学よりも短大の方が高い。

保護者との連携

「保護者との連携」については、国公立で50%、私立では65%が「連携はできている」と回答している。短大を含めて私立の方が保護者との連携に配慮している傾向がみられる。

他調査との比較

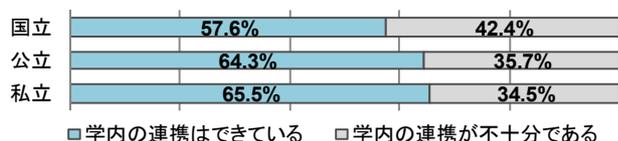
平成26年のJASSOの調査では、「担当者間で連絡を取っている」が大学全体で86.1%と高く、学外機関とも「連携している」が62.9%になっているが、今回の学生支援担当者へのアンケート結果からみると、まだまだ連携は不十分ということであろうか。

また、就職先の決定に当たっても、最近の傾向として親の意見が影響しているとの指摘がなされている。平成24年のベネッセ教育総合研究所の調査（第2回大学生の学生生活実態調査）によれば、「保護者のアドバイスや意見に従うことが多い」と回答している学生は45.8%であり、平成20年の同調査より5.8ポイント増えている。履修（単位取得）状況の報告や就職問題など、昨今は保護者との連携、説明が求められており、大学の対応に対する理解を深めるためにも保護者への対応が重要になっている実態がうかがわれる。

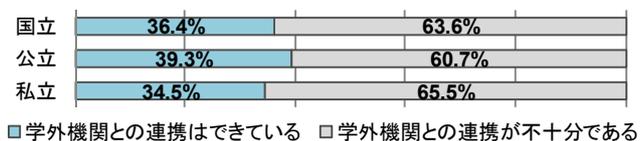
問3の学生支援の取組みに関する課題（7頁）においても、「保護者との対応」を課題としてあげている大学が国公立とも1割を超えており、短大では24.1%になっている。

（3）学生支援に関する連携の状況

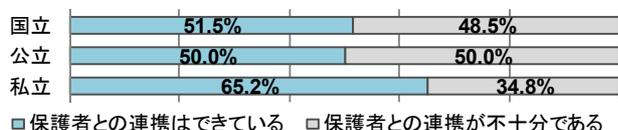
①学生支援に関する学内の連携(大学)



②学生支援に関する学外機関との連携(大学)



③学生支援に関する保護者との連携(大学)



(下段は%)

		大 学				短 期 大 学		
		国立	公立	私立	大学計	公立	私立	短大計
① 学生支援に関する学内の連携	学内の連携はできている	1 9	1 8	7 6	1 1 3	3	4 0	4 3
		57.6	64.3	65.5	63.8	42.9	80.0	75.4
	学内の連携が不十分である	1 4	1 0	4 0	6 4	4	1 0	1 4
		42.4	35.7	34.5	36.2	57.1	20.0	24.6
小 計		3 3	2 8	1 1 6	1 7 7	7	5 0	5 7
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
② 学生支援に関する学外機関との連携	学外機関との連携はできている	1 2	1 1	4 0	6 3	2	2 2	2 4
		36.4	39.3	34.5	35.6	28.6	44.0	42.1
	学外機関との連携が不十分である	2 1	1 7	7 6	1 1 4	5	2 8	3 3
		63.6	60.7	65.5	64.4	71.4	56.0	57.9
小 計		3 3	2 8	1 1 6	1 7 7	7	5 0	5 7
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
③ 学生支援に関する保護者との連携	保護者との連携はできている	1 7	1 4	7 5	1 0 6	3	3 1	3 4
		51.5	50.0	65.2	60.2	42.9	62.0	59.6
	保護者との連携が不十分である	1 6	1 4	4 0	7 0	4	1 9	2 3
		48.5	50.0	34.8	39.8	57.1	38.0	40.4
小 計		3 3	2 8	1 1 5	1 7 6	7	5 0	5 7
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問2 学生支援と大学等の評価基準

ユニバーサル化し、学生がますます多様化していることにより、学生支援活動の重要性が高まってきていると指摘されており、学生支援の取組みは大学等の認証評価基準としても重要になってきている。学生支援を「大学等の評価基準」としてどのように考えるか調査した。

学生支援は大学の評価基準としては重要、しかし評価基準は現状でよい。

「学生支援は重要であり、評価基準としてもっと具体的・明確にし、重視した方がよい」との回答は全体で36.2%と、やや私立の方が高い。一方、「評価基準としては現状のままでよい」は大学全体で54.2%であり、国立の方が私立に比べ15ポイント高くなっている。

学生支援と大学等の評価基準

学生支援と大学等の評価基準(大学)

国立	30.3%	63.6%	6.1%
公立	32.1%	67.9%	
私立	38.8%	48.3%	12.9%

- ① 学生支援は重要であり、評価基準としてもっと具体的・明確にし、重視した方がよいと思う。
- ② 学生支援は重要だが、評価基準としては現状のままでよいと思う。
- ③ 学生支援は重要だが、個々の大学等によって取組は異なるので評価基準とする必要はない。

(下段は%)

		大 学				短 期 大 学		
		国立	公立	私立	大学計	公立	私立	短大計
① 学生支援は重要であり、評価基準としてもっと具体的・明確にし、重視した方がよいと思う。	1 0	9	4 5	6 4	2	1 7	1 9	
	30.3	32.1	38.8	36.2	28.6	33.3	32.8	
② 学生支援は重要だが、評価基準としては現状のままでよいと思う。	2 1	1 9	5 6	9 6	4	2 8	3 2	
	63.6	67.9	48.3	54.2	57.1	54.9	55.2	
③ 学生支援は重要だが、個々の大学等によって取組は異なるので評価基準とする必要はない。	2	0	1 5	1 7	1	6	7	
	6.1	0.0	12.9	9.6	14.3	11.8	12.1	
小 計		3 3	2 8	1 1 6	1 7 7	7	5 8	
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

問3 学生支援の取組みに関する課題

各大学・短期大学の学生支援の取組みに関する課題を調査した。

学生支援の課題は、担当者の確保と予算。

国立は予算、公私立は担当職員が不足

現在、各大学等の副学長等は、学生支援の取組みに関する課題として国立では「予算が少ない」が72.7%、公私立では「担当する教職員が不足している」が約45%になっている。

スチューデントコンサルタントは担当者の不足が多い

一方、学生に直接対応することの多いスチューデントコンサルタント認定者では、「組織的な取組み、対応が不足している」が57.4%と最も多く、次いで「専門的な知識が十分でない」が42.6%で、「担当する教職員が不足している」が40.4%。「予算が少ない」は17.0%になっている。

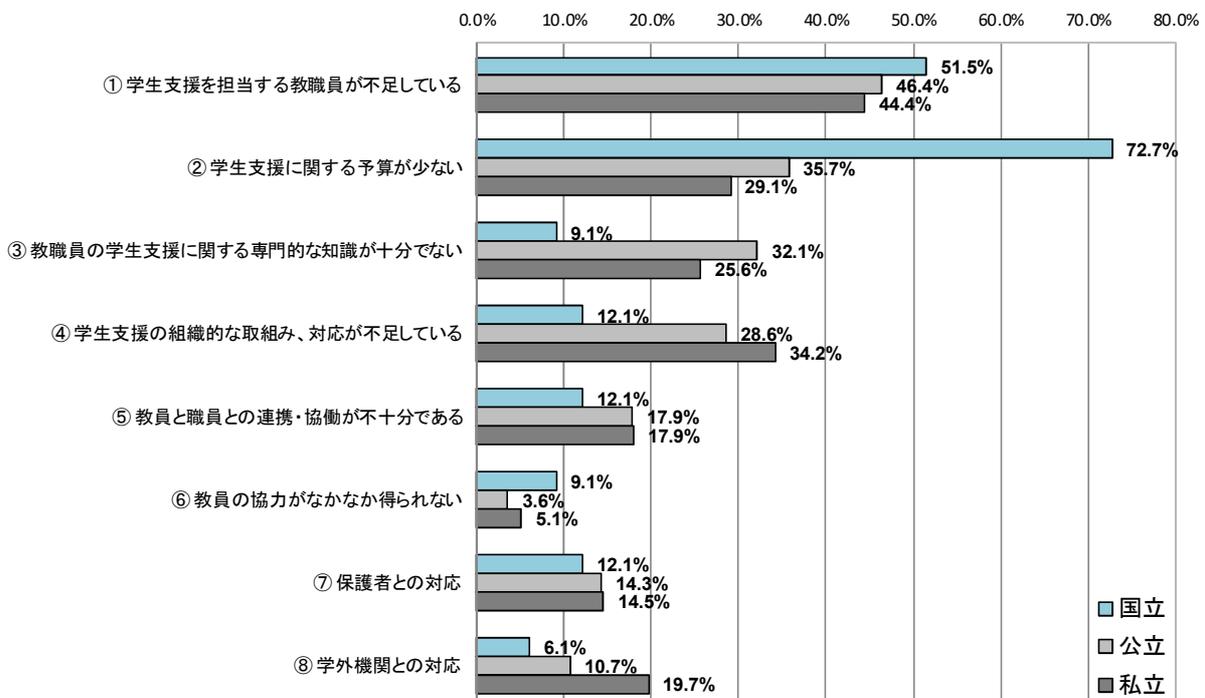
毎日学生に接触し、課題を抱えた学生に直ちに対応が求められることが多い職員としては、まず担当者が不足していて十分な対応ができない、様々な問題に対して専門的な知識が足りないとの悩みが率直に調査結果に出ているといえよう。そのためにも連携が重要と考えている実態がうかがわれる。

他調査との比較

平成26年のJASSOの調査によれば、「学生相談に関する今後の課題として特に必要性が高いと思われる事項」として、「悩みを抱えていながら相談に来ない学生への対応」が85.9%と最も高く、次に「精神的危機の状況にある学生への対応」が73.7%、「相談員と教職員との連携・協働」が70.5%になっている。いずれの調査においても最近の学生の実態と学生支援の現状が表れており、専門的な能力を有する教職員の不足と大学全体での連携・協働の必要性が調査結果からもうかがわれるところである。

学生支援の取組みに関する課題（複数回答）

学生支援の取組みに関する課題(大学)



(下段は%)

	大 学				短 期 大 学			認定者
	国立	公立	私立	大学計	公立	私立	短大計	
① 学生支援を担当する教職員が不足している	17	13	52	82	3	19	22	19
	51.5	46.4	44.4	46.1	42.9	37.3	37.9	40.4
② 学生支援に関する予算が少ない	24	10	34	68	0	18	18	8
	72.7	35.7	29.1	38.2	0.0	35.3	31.0	17.0
③ 教職員の学生支援に関する専門的な知識が十分でない	3	9	30	42	4	13	17	20
	9.1	32.1	25.6	23.6	57.1	25.5	29.3	42.6
④ 学生支援の組織的な取り組み、対応が不足している	4	8	40	52	1	12	13	27
	12.1	28.6	34.2	29.2	14.3	23.5	22.4	57.4
⑤ 教員と職員との連携・協働が不十分である	4	5	21	30	1	7	8	5
	12.1	17.9	17.9	16.9	14.3	13.7	13.8	10.6
⑥ 教員の協力がなかなか得られない	3	1	6	10	1	3	4	4
	9.1	3.6	5.1	5.6	14.3	5.9	6.9	8.5
⑦ 保護者との対応	4	4	17	25	2	12	14	5
	12.1	14.3	14.5	14.0	28.6	23.5	24.1	10.6
⑧ 学外機関との対応	2	3	23	28	2	13	15	2
	6.1	10.7	19.7	15.7	28.6	25.5	25.9	4.3
小 計 (複数回答数) (回答大学数)	61	53	223	337	14	97	111	90
	33	28	117	178	7	51	58	47

(注) 上段は、その項目を回答した大学数 (複数回答数) を示す。

下段は、その項目を回答した大学数全体 (回答大学数) に対する比率を示す。

問4 学生支援の分野における課題

各大学や短期大学では、学生支援の分野でどのような課題を抱えているのであろうか。その現状を調査した。

メンタルヘルスや障害者等への対応が課題。**山積する課題**

学生支援の分野で、課題として回答数の最も多いのが「障害や病気等の課題を有する学生への対応」で、大学全体で62.9% (国63.6%、公64.3%、私62.4%)、短大では46.6%となっている。

次いで、「メンタルヘルス等の対応」が59.6%で、国立では72.7%と最も高い。公私立や短大でも約6割になっている。私立では「入学者の確保」が大学で41.0%、短大でも51.7%と高い。

スチューデントコンサルタント認定者の調査結果でも、「障害や病気等の課題を有する学生への対応」が74.5%、次いで、「メンタルヘルス等の対応」が63.8%になっている。

他調査との比較

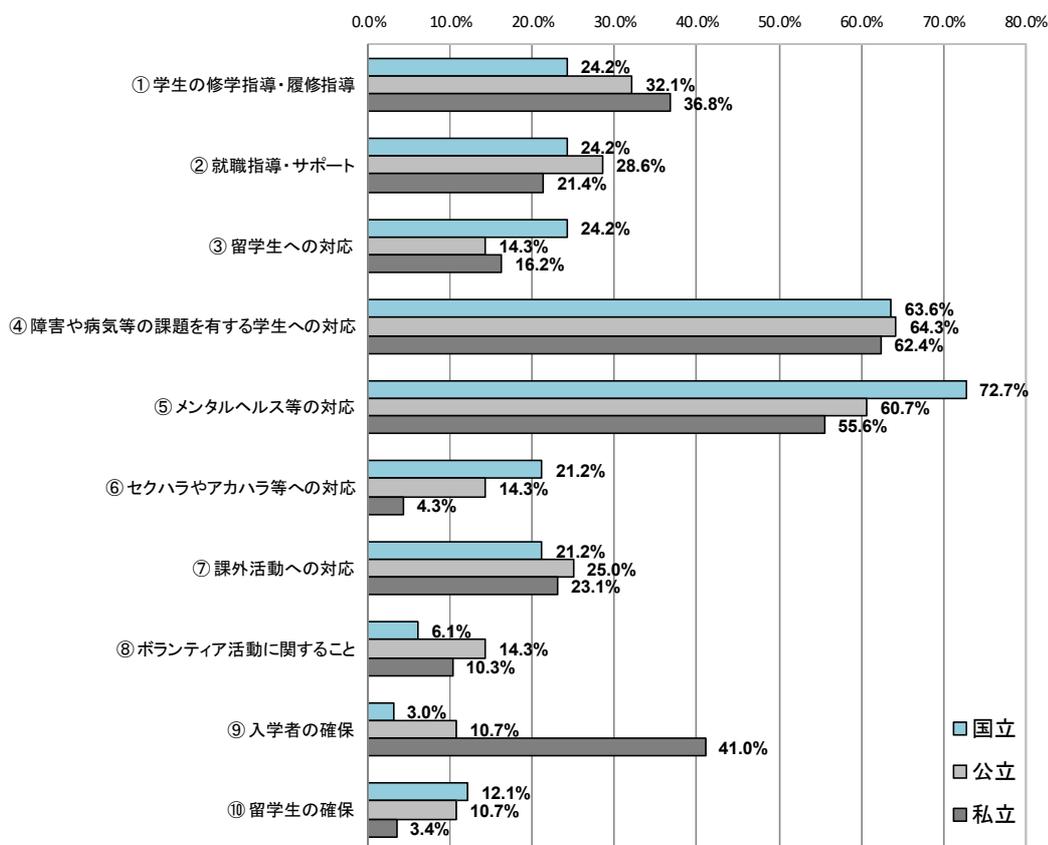
平成26年のJASSOの調査をみても、「学生相談に関する今後の課題として特に必要性が高いと思われる事項」として、「精神的危機の状況にある学生への対応」が73.7%と高い。

障害者差別解消法の制定により、平成28年4月から国公立大学では障害を有する学生への合理的配慮が法定義務化され、私立大学では努力義務が課せられることになっている。施設整備のみならず、様々な障害等に対応したサポートが大きな課題になっている現状がうかがわれる。

また、大学においてもいわゆるパワハラ、セクハラ等の問題が時々ニュースで報道されることがあるが、この対応も大学教職員と学生間との問題として放置できないことはいまでもなく、難しい問題であるが人権問題として対応を迫られている問題である。

学生支援の分野における課題（複数回答）

学生支援の分野における課題(大学)



(下段は%)

	大 学				短 期 大 学			認定者
	国立	公立	私立	大学計	公立	私立	短大計	
① 学生の修学指導・履修指導	8	9	4 3	6 0	1	9	1 0	2 0
	24.2	32.1	36.8	33.7	14.3	17.6	17.2	42.6
② 就職指導・サポート	8	8	2 5	4 1	3	1 5	1 8	7
	24.2	28.6	21.4	23.0	42.9	29.4	31.0	14.9
③ 留学生への対応	8	4	1 9	3 1	2	9	1 1	1 1
	24.2	14.3	16.2	17.4	28.6	17.6	19.0	29.4
④ 障害や病気等の課題を有する学生への対応	2 1	1 8	7 3	1 1 2	3	2 4	2 7	3 5
	63.6	64.3	62.4	62.9	42.9	47.1	46.6	74.5
⑤ メンタルヘルス等の対応	2 4	1 7	6 5	1 0 6	5	3 3	3 8	3 0
	72.7	60.7	55.6	59.6	71.4	64.7	65.5	63.8
⑥ セクハラやアカハラ等への対応	7	4	5	1 6	1	2	3	4
	21.2	14.3	4.3	9.0	14.3	3.9	5.2	8.5
⑦ 課外活動への対応	7	7	2 7	4 1	1	1 1	1 2	8
	21.2	25.0	23.1	23.0	14.3	21.6	20.7	17.0
⑧ ボランティア活動に関すること	2	4	1 2	1 8	1	6	7	4
	6.1	14.3	10.3	10.1	14.3	11.8	12.1	8.5
⑨ 入学者の確保	1	3	4 8	5 2	2	2 8	3 0	1 2
	3.0	10.7	41.0	29.2	28.6	54.9	51.7	25.5
⑩ 留学生の確保	4	3	4	1 1	0	1	1	1
	12.1	10.7	3.4	6.2	0.0	2.0	1.7	2.1
小 計 (複数回答数) (回答大学数)	9 0	7 7	3 2 1	4 8 8	1 9	1 3 8	1 5 7	1 3 2
	3 3	2 8	1 1 7	1 7 8	7	5 1	5 8	4 7

(注) 上段は、その項目を回答した大学数（複数回答数）を示す。

下段は、その項目を回答した大学数全体（回答大学数）に対する比率を示す。

問5 学生支援に必要な専門性

ますます多様化する学生に対し、学生支援に求められる専門性はどのようなものであると考えているのであろうか。教学・修学面、コミュニケーション能力、健康、安全・危機管理等の面から調査した。

教職員の連携が極めて重要。

担当教職員の不足とともに専門的な知識・能力の不足が今回の調査結果でも指摘されている。では、どのような知識や能力が必要であると考えているのであろうか。

教職員の連携

「教職員との連携」について「とても必要」との回答が最も多く、大学全体で78.1%となっている。「必要」と回答したものを含めると98.9%が、何よりも「教職員との連携」をあげている。スチューデントコンサルタント認定者の調査結果をみても「とても必要」が71.7%、「必要」が28.1%で、合わせて99.8%になっている。特に修学に関する問題については「教職員の連携」が重要であることを示している。

他調査との比較

平成26年のJASSOの調査においては、「修学に関する相談」に関して「履修登録・科目選択」(大学全体で47.1%、短大全体で43.8%)が重要と回答している割合が高く、次いで「教員との相性や人間関係」が大学全体で35.0%、短大全体で32.2%になっている。教員との相性や人間関係が高い比率を示していることは十分留意する必要がある。

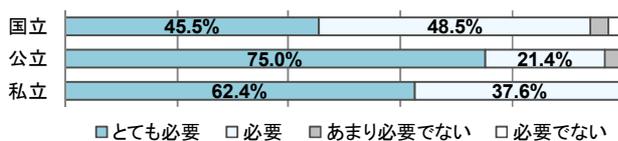
修学・履修関係や就職関連情報も大事

このほか、主として教務関係では、当然のことながら「修学・履修関係の情報や知識」について「とても必要」が大学全体で61.2%、短大全体で53.4%と高く、「必要」を加えると98%以上になっている。スチューデントコンサルタント認定者の結果も同様である。

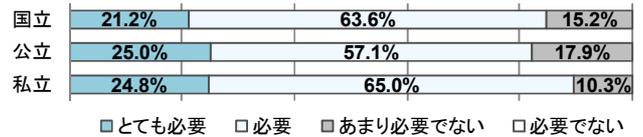
また、就職に関連して「企業情報や就職関連情報や知識」が「とても必要」、「必要」を合わせると大学全体では93.3%、短大では96.5%となっている。

(1) 主として教務関係の情報や知識

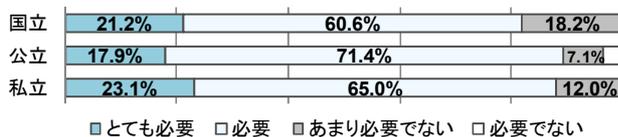
① 修学・履修関係の情報や知識(大学)



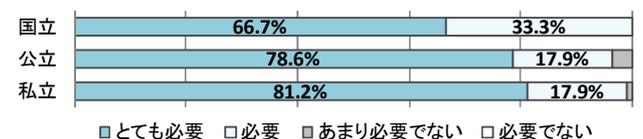
② 学校教育法等の法令に関する情報や知識(大学)



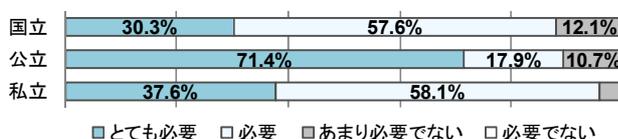
③ 各種資格やその取得に関する情報や知識(大学)



④ 教職員との連携(大学)



⑤ 企業情報や就職関連情報や知識(大学)



(下段は%)

		大 学				短 期 大 学			認定者
		国立	公立	私立	大学計	公立	私立	短大計	
① 修学・履修関係の 情報や知識	とても必要	1.5	2.1	7.3	10.9	4	2.7	3.1	1.8
		45.5	75.0	62.4	61.2	57.1	52.9	53.4	39.1
	必要	1.6	6	4.4	6.6	3	2.4	2.7	2.7
		48.5	21.4	37.6	37.1	42.9	47.1	46.6	58.7
	あまり必要でない	1	1	0	2	0	0	0	0
		3.0	3.6	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0
必要でない	1	0	0	1	0	0	0	1	
	3.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	2.1	
小 計	3.3	2.8	11.7	17.8	7	5.1	5.8	4.6	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
② 学校教育法等の法令に 関する情報 や知識	とても必要	7	7	2.9	4.3	1	1.2	1.3	8
		21.2	25.0	24.8	24.2	14.3	23.5	22.4	17.4
	必要	2.1	1.6	7.6	11.3	5	3.4	3.9	3.2
		63.6	57.1	65.0	63.5	71.4	66.7	67.2	69.6
	あまり必要でない	5	5	1.2	2.2	1	5	6	5
		15.2	17.9	10.3	12.4	14.3	9.8	10.3	10.9
必要でない	0	0	0	0	0	0	0	1	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	
小 計	3.3	2.8	11.7	17.8	7	5.1	5.8	4.6	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
③ 各種資格や その取得に 関する情報 や知識	とても必要	7	5	2.7	3.9	0	1.1	1.1	6
		21.2	17.9	23.1	21.9	0.0	21.6	19.0	13.0
	必要	2.0	2.0	7.6	11.6	7	3.9	4.6	2.7
		60.6	71.4	65.0	65.2	100.0	76.5	79.3	58.7
	あまり必要でない	6	2	1.4	2.2	0	1	1	1.3
		18.2	7.1	12.0	12.4	0.0	2.0	1.7	28.3
必要でない	0	1	0	1	0	0	0	0	
	0.0	3.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
小 計	3.3	2.8	11.7	17.8	7	5.1	5.8	4.6	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
④ 教職員との 連携	とても必要	2.2	2.2	9.5	13.9	6	3.5	4.1	3.3
		66.7	78.6	81.2	78.1	85.7	68.6	70.7	71.7
	必要	1.1	5	2.1	3.7	1	1.6	1.7	1.2
		33.3	17.9	17.9	20.8	14.3	31.4	29.3	28.1
	あまり必要でない	0	1	1	2	0	0	0	1
		0.0	3.6	0.9	1.1	0.0	0.0	0.0	2.2
必要でない	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
小 計	3.3	2.8	11.7	17.8	7	5.1	5.8	4.6	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
⑤ 企業情報や 就職関連情 報や知識	とても必要	1.0	2.0	4.4	7.4	5	2.0	2.5	8
		30.3	71.4	37.6	41.6	71.4	39.2	43.1	17.4
	必要	1.9	5	6.8	9.2	2	2.9	3.1	3.0
		57.6	17.9	58.1	51.7	28.6	56.9	53.4	65.2
	あまり必要でない	4	3	5	1.2	0	2	2	8
		12.1	10.7	4.3	6.7	0.0	3.9	3.4	17.4
必要でない	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
小 計	3.3	2.8	11.7	17.8	7	5.1	5.8	4.6	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

学生支援では相談力が重要。

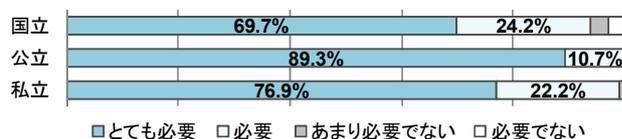
学生に対応する教職員は相談力が不可欠

日常的に学生と接触する学生支援担当教職員には「学生を支援するための相談力」が「とても必要」であると考えている大学が77.5%である（短大では77.6%）。スチューデントコンサルタント認定者の調査結果でも71.7%になっている。

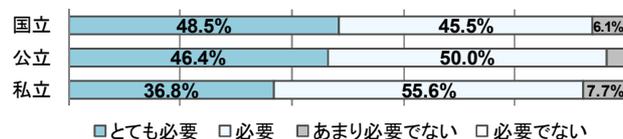
「学内や関係機関との交渉力」や「留学生や対外機関との対応における語学力」などに比べて、学生に直接会って相談に適切に対応する力が最も求められており、そのことが学生の信頼を得る上で重要であることを示しているといえよう。学生支援担当者の適性を考える上で重要な示唆である。

(2) 主としてコミュニケーション能力等に関する専門性

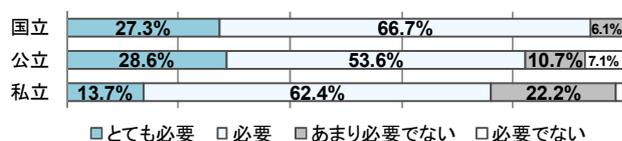
① 学生を支援するための相談力(大学)



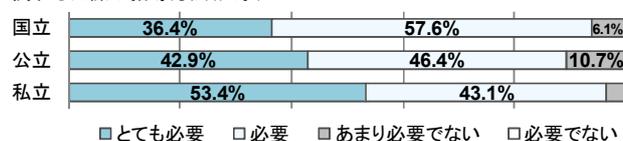
② 学内や関係機関との交渉力(大学)



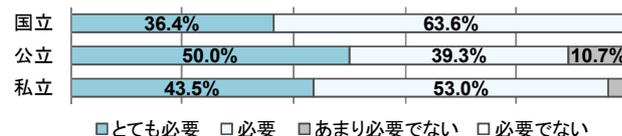
③ 留学生や対外機関との対応における語学力(大学)



④ 学生間等のコミュニケーションの仕方や仲間作りに関する知識や指導方法(大学)



⑤ 学生や保護者、地域社会とのコミュニケーションの方法等(大学)



(下段は%)

		大 学				短 期 大 学			認定者
		国立	公立	私立	大学計	公立	私立	短大計	
① 学生を支援するための相談力	とても必要	23	25	90	138	7	38	45	33
		69.7	89.3	76.9	77.5	100.0	74.5	77.6	71.7
	必要	8	3	26	37	0	12	12	13
		24.3	10.7	22.2	20.8	0.0	23.5	20.7	28.3
	あまり必要でない	1	0	1	2	0	1	1	0
		3.0	0.0	0.9	1.1	0.0	2.0	1.7	0.0
② 学内や関係機関との交渉力	必要でない	1	0	0	1	0	0	0	0
		3.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	小 計	33	28	117	178	7	51	58	46
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	とても必要	16	13	43	72	4	17	21	19
		48.5	46.4	36.8	40.4	57.1	33.3	36.2	41.3
③ 留学生や対外機関との対応における語学力	必要	15	14	65	94	3	31	34	24
		45.5	50.0	55.6	52.8	42.9	60.8	58.6	52.2
	あまり必要でない	2	1	9	12	0	3	3	3
		6.1	3.6	7.7	6.7	0.0	5.9	5.2	6.5
	必要でない	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
④ 学生や保護者、地域社会とのコミュニケーションの方法等	小 計	33	28	117	178	7	51	58	46
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	とても必要	9	8	16	33	1	8	9	4
		27.3	28.6	13.7	18.5	14.3	15.7	15.5	8.7
	必要	22	15	73	110	3	23	26	27
		66.7	53.6	62.4	61.8	42.9	45.1	44.8	58.7
⑤ 学生や保護者、地域社会とのコミュニケーションの方法等	あまり必要でない	2	3	26	31	2	18	20	13
		6.1	10.7	22.2	17.4	28.6	35.3	34.5	28.3
	必要でない	0	2	2	4	1	2	3	2
		0.0	7.1	1.7	2.2	14.3	3.9	5.2	4.3
	小 計	33	28	117	178	7	51	58	46
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

④ 学生間等の コミュニケーションの 仕方や仲間 作りに関する 知識や指導 方法	とても必要	12	12	62	86	6	31	37	18
		36.4	42.9	53.4	48.6	85.7	62.0	64.9	39.1
	必要	19	13	50	82	1	18	19	23
		57.6	46.4	43.1	46.3	14.3	36.0	33.3	50.0
	あまり必要 でない	2	3	4	9	0	1	1	5
		6.1	10.7	3.4	5.1	0.0	2.0	1.8	10.9
必要でない	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小計	33	28	116	177	7	50	57	46	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
⑤ 学生や保護 者、地域社 会とのコミ ュニケーシ ョンの方法 等	とても必要	12	14	50	76	6	24	30	14
		36.4	50.0	43.5	43.2	85.7	48.0	52.6	30.4
	必要	21	11	61	93	1	24	25	28
		63.6	39.3	53.0	52.8	14.3	48.0	43.9	60.9
	あまり必要 でない	0	3	4	7	0	2	2	4
		0.0	10.7	3.5	4.0	0.0	4.0	3.5	8.7
必要でない	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
小計	33	28	115	176	7	50	57	46	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

健康や障害等に関する情報や知識が必要。

障害を有する学生の対応には専門的な知識や情報が必要

学生の健康面に関して、「健康や障害等に関する情報や知識（メンタルヘルス等を含む）」が「とても必要」、「必要」であると回答した大学は98.9%（短大は100.0%）である。障害を有する学生の増、特に最近は発達障害等を有する入学者も増加してきているといわれ、その対応に当たって、専門的な知識や情報が必要であると考えている大学等が多いことを示している。

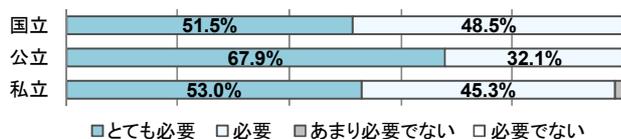
平成26年のJASSOの調査においても、「学生相談に関する今後の課題として特に必要性が高いと思われる事項」として、「精神的危機の状況にある学生への対応」が73.7%になっている。

セクハラ・アカハラ対応も課題

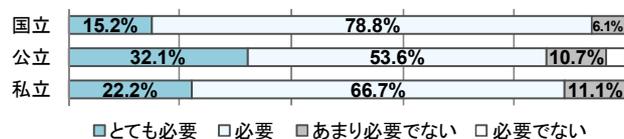
また、「セクハラ・アカハラ等に関する情報や知識」が必要と回答している大学も97.2%、短大で98.3%と多い。

(3) 主として健康等に関する専門性

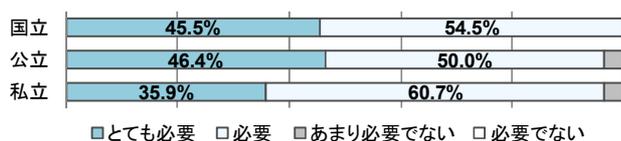
①健康や障害等に関する情報や知識（メンタルヘルス等を含む）（大学）



②薬物乱用防止等に関する情報や知識（大学）



③セクハラ・アカハラ等に関する情報や知識（大学）



(下段は%)

		大 学				短 期 大 学			認定者
		国立	公立	私立	大学計	公立	私立	短大計	
① 健康や障害等に関する情報や知識 (メンタルヘルス等を含む)	とても必要	1.7	1.9	6.2	9.8	3	2.7	3.0	2.0
		51.5	67.9	53.0	55.1	42.9	52.9	51.7	43.5
	必要	1.6	9	5.3	7.8	4	2.4	2.8	2.6
		48.5	32.1	45.3	43.8	57.1	47.1	48.3	56.5
	あまり必要でない	0	0	2	2	0	0	0	0
		0.0	0.0	1.7	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	必要でない	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
小 計	3.3	2.8	11.7	17.8	7	5.1	5.8	4.6	
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
② 薬物乱用防止等に関する情報や知識	とても必要	5	9	2.6	4.0	2	1.3	1.5	5
		15.2	32.1	22.2	22.5	28.6	25.5	25.9	10.9
	必要	2.6	1.5	7.8	11.9	3	3.1	3.4	3.3
		78.8	53.6	66.7	66.9	42.9	60.8	58.6	71.7
	あまり必要でない	2	3	1.3	1.8	2	7	9	8
		6.1	10.7	11.1	10.1	28.6	13.7	15.5	17.4
	必要でない	0	1	0	1	0	0	0	0
0.0		3.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
小 計	3.3	2.8	11.7	17.8	7	5.1	5.8	4.6	
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
③ セクハラ・アカハラ等に関する情報や知識	とても必要	1.5	1.3	4.2	7.0	2	1.9	2.1	1.1
		45.5	46.4	35.9	39.3	28.6	37.3	36.2	23.9
	必要	1.8	1.4	7.1	10.3	5	3.1	3.6	3.2
		54.5	50.0	60.7	57.9	71.4	60.8	62.1	69.6
	あまり必要でない	0	1	4	5	0	1	1	3
		0.0	3.6	3.4	2.8	0.0	2.0	1.7	6.5
	必要でない	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
小 計	3.3	2.8	11.7	17.8	7	5.1	5.8	4.6	
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

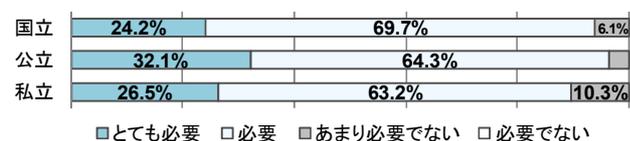
危機管理、安全の確保に関する情報や知識は不可欠。

文部科学省の学校基本調査によれば、自宅通学者の比率は年々高くなってきており、平成24年度の調査では大学の全国平均は56.8%になっている。自宅通学生であるかどうかにかかわらず、大学に入学してからは保護者の影響下から独立して、課外活動やアルバイト、ボランティア等の社会活動を行う学生が多い。

学生が社会生活を営む上で学生支援の立場から留意が必要な専門知識を質問してみた。「とても必要」と回答した大学は「危機管理、安全に関する情報や知識」が48.6%と最も多い。「必要」と合わせると99.4%である。地震や火山情報等が日常的に報道される中で、学生の安全をどう確保するかという大学の危機意識が表れている。

(4) 主として学生が社会生活を営む上で留意すべき専門的知識

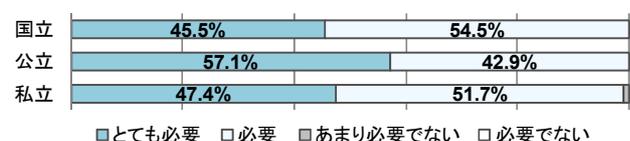
①差別問題に関する情報や知識(大学)



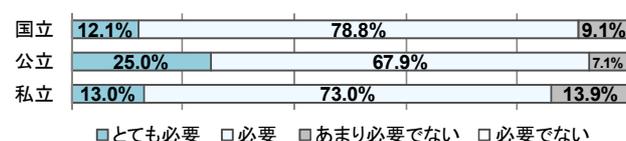
②カルト問題に関する情報や知識(大学)



③危機管理、安全に関する情報や知識(大学)



④消費者問題に関する情報や知識(大学)



(下段は%)

		大 学				短 期 大 学			認定者
		国立	公立	私立	大学計	公立	私立	短大計	
① 差別問題に関する情報や知識	とても必要	8	9	3.1	4.8	2	1.5	1.7	5
		24.2	32.1	26.5	27.0	28.6	29.4	29.3	10.9
	必要	2.3	1.8	7.4	11.5	4	3.0	3.4	3.3
		69.7	64.3	63.2	64.6	57.1	58.8	58.6	71.7
	あまり必要でない	2	1	1.2	1.5	0	6	6	7
		6.1	3.6	10.3	8.4	0.0	11.8	10.3	15.2
必要でない	0	0	0	0	1	0	1	1	
	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	1.7	2.2	
小 計		3.3	2.8	11.7	17.8	7	5.1	5.8	4.6
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
② カルト問題に関する情報や知識	とても必要	8	8	2.4	4.0	1	1.0	1.1	1.0
		24.2	28.6	20.7	22.6	14.3	19.6	19.0	21.7
	必要	2.2	1.8	7.8	11.8	5	3.4	3.9	2.9
		66.7	64.3	67.2	66.7	71.4	66.7	67.2	63.1
	あまり必要でない	3	2	1.4	1.9	0	6	6	7
		9.1	7.1	12.1	10.7	0.0	11.8	10.3	15.2
必要でない	0	0	0	0	1	1	2	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	2.0	3.4	0.0	
小 計		3.3	2.8	11.6	17.7	7	5.1	5.8	4.6
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
③ 危機管理、安全に関する情報や知識	とても必要	1.5	1.6	5.5	8.6	3	2.5	2.8	1.6
		45.5	57.1	47.4	48.6	42.9	51.0	50.0	34.8
	必要	1.8	1.2	6.0	9.0	4	2.3	2.7	2.5
		54.5	42.9	51.7	50.8	57.1	46.9	48.2	54.3
	あまり必要でない	0	0	1	1	0	1	1	5
		0.0	0.0	0.9	0.6	0.0	2.0	1.8	10.9
必要でない	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
小 計		3.3	2.8	11.6	17.7	7	4.9	5.6	4.6
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
④ 消費者問題に関する情報や知識	とても必要	4	7	1.5	2.6	2	1.4	1.6	6
		12.1	25.0	13.0	14.8	28.6	28.0	28.1	13.0
	必要	2.6	1.9	8.4	12.9	4	2.7	3.1	2.8
		78.8	67.9	73.0	73.3	57.1	54.0	54.4	60.9
	あまり必要でない	3	2	1.6	2.1	1	9	1.0	1.2
		9.1	7.1	13.9	11.9	14.3	18.0	17.5	26.1
必要でない	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
小 計		3.3	2.8	11.5	17.6	7	5.0	5.7	4.6
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問6 スチューデントコンサルタントについて

当法人の主たる事業として、スチューデントコンサルタントの認定制度があり、平成27年度までに713名を認定している。大学等の理事・副学長等がどの程度この認定制度を理解しているか調査した。

まだまだ低いスチューデントコンサルタントの認知度。

当法人の重要な事業としてスチューデントコンサルタントの認定試験制度があり、平成27年度で713名が認定され、これらのスチューデントコンサルタントは各大学等で学生支援の中核となって活躍している。

各大学・短大の学生支援担当副学長等は、このスチューデントコンサルタントの認定試験制度についてどの程度理解しているか質問してみたところ、「知っている」と回答した大学は50.6%（短大は46.6%）、「知らない」と回答した大学は49.4%（短大は53.4%）になっている。

「スチューデントコンサルタントは必要ない」も20.1%あり、「大学等の運営、学生支援は幅広い知識が求められるので、あまり専門的な職種は設けない方がよい」も22.6%ある。より高度専門職が求められる中、今後の学生支援の在り方にも関連する問題といえよう。当法人のスチューデントコンサルタント認定試験制度の運営方法や広報活動についても検討を求められている。

スチューデントコンサルタントについて

①スチューデントコンサルタントの認知(大学)

国立	51.5%	48.5%
公立	39.3%	60.7%
私立	53.0%	47.0%

■知っている。 □知らない。

②スチューデントコンサルタントの有無(大学)

国立	27.3%	51.5%	21.2%
公立		74.1%	22.2%
私立	19.1%	60.0%	20.9%

■自分の大学・短期大学にスチューデントコンサルタントがいる。
□自分の大学・短期大学にスチューデントコンサルタントはいない。
□わからない

③スチューデントコンサルタントの必要性(大学)

国立	58.1%	12.9%	29.0%
公立	61.5%	26.9%	11.5%
私立	56.1%	20.6%	23.4%

■スチューデントコンサルタントは必要であり、制度はあった方がよい。
□しっかり対応しているので、スチューデントコンサルタントは必要ない。
□大学等の運営、学生支援は幅広い知識が求められ専門的な職種は設けない方がよい。

(下段は%)

		大 学				短 期 大 学		
		国立	公立	私立	大学計	公立	私立	短大計
① スチュー デントコ ンサルタ ントの認 知	知っている。	17	11	62	90	4	23	27
		51.5	39.3	53.0	50.6	57.1	45.1	46.6
	知らない。	16	17	55	88	3	28	31
		48.5	60.7	47.0	49.4	42.9	54.9	53.4
	小 計	33	28	117	178	7	51	58
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
② スチュー デントコ ンサルタ ントの有 無	自分の大学・短期大学にスチュー デントコンサルタントがいる。	9	1	22	32	1	6	7
		27.3	3.7	19.1	18.3	14.3	11.8	12.1
	自分の大学・短期大学にスチュー デントコンサルタントはいない。	17	20	69	106	6	38	44
		51.5	74.1	60.0	60.6	85.7	74.5	75.9
	わからない。	7	6	24	37	0	7	7
		21.2	22.2	20.9	21.1	0.0	13.7	12.1
	小 計	33	27	115	175	7	51	58
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
③ スチュー デントコ ンサルタ ントの必 要性	スチューデントコンサルタント は必要であり、制度はあった方が よい。	18	16	60	94	5	24	29
		58.1	61.5	56.1	57.3	71.4	51.1	53.7
	しっかり対応しているのでスチ ューデントコンサルタントは必 要ない。	4	7	22	33	2	6	8
		12.9	26.9	20.6	20.1	28.6	12.8	14.8
	大学等の運営、学生支援は幅広い 知識が求められるので専門的な 職種は設けない方がよい。	9	3	25	37	0	17	17
	29.0	11.5	23.4	22.6	0.0	36.2	31.5	
	小 計	31	26	107	164	7	47	54
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0